

平成 21 年度第 1 回キタミズクラゲ出現情報

岩手県水産技術センター

4 月に入り、本県沿岸の各地からクラゲの出現に関する情報が寄せられており、定置網等の沿岸漁業に影響が生じています。これまでに寄せられている情報によると、一部の定置網では数トン～数十トンものクラゲが入網しており、作業量の増大や漁具の破損など、操業に支障を来しています。

そこで、漁業指導調査船「北上丸」により、4 月 24 日に県南部の沿岸域でクラゲ分布調査を行ったので、その結果をお知らせします。

【調査結果】

釜石湾から大船渡湾にかけて、海岸線に沿って目視と魚群探知機によりクラゲの分布状況を調べました(図 1)。

各調査地点の表面水温は全域で 8～9℃台でした。多くのクラゲが分布していた 2 地点で観測を行ったところ、10m 以深は 50m 深まで 7～8℃でした(図 2)。

本調査では、尾崎から綾里崎にかけてほぼ全域でクラゲの分布が認められ、特に死骨崎と首崎付近(矢印)で数十個のクラゲが濃密に分布していました。

分布の多い 2 地点でクラゲを採集したところ、本種は昨年春に本県周辺で大量に出現していたキタミズクラゲと同定されました(別紙写真)。採集されたキタミズクラゲの傘径は、16～26cm の範囲で、17cm と 21cm にモードがみられました(図 3)。

【その他情報】

4 月 27 日現在、久慈市から陸前高田市にいたる広範囲の定置網にキタミズクラゲが大量に入網しており、魚が捕れなくなったり、作業量が増大した、という情報が多数報告されています。昨年度と比べると、出現時期が早く、分布量も多いとの情報が多く寄せられています。キタミズクラゲの沿岸漁業への影響は今後も続くと考えられますので、クラゲの入網による漁具の破損などにはご注意ください。

当センターでは、引き続きクラゲの出現状況の把握と情報提供に努めてまいりますので、クラゲに関する情報をお持ちの方は、お知らせ下さいますようお願いいたします。



図 1 キタミズクラゲが観察された地点

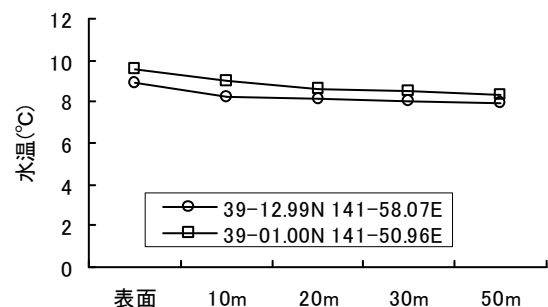


図 2 調査地点における水温分布

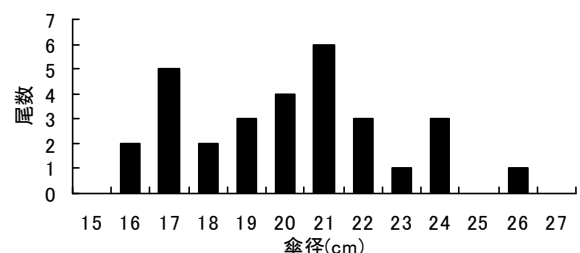
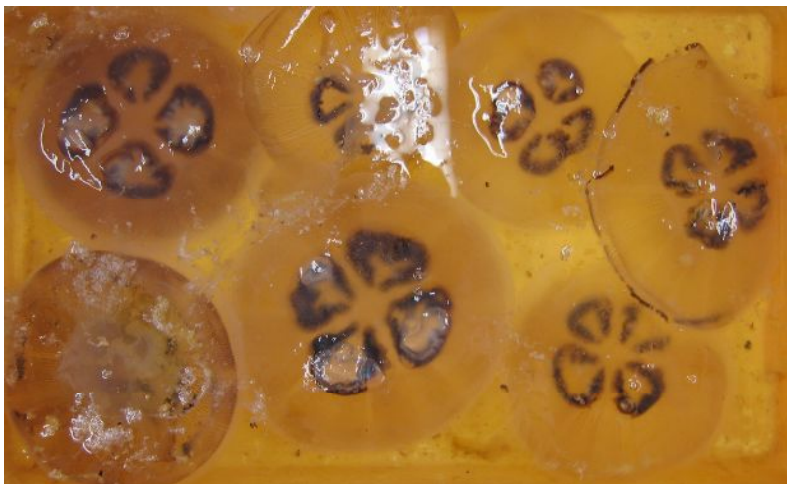


図 3 キタミズクラゲの傘径組成



キタミズクラゲ(傘の縁辺に赤褐色の縁取りがあることが特徴)

お問い合わせ先

岩手県水産技術センター漁業資源部（担当：後藤）

電話 0193-26-7915／FAX0193-26-7920

E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

ホームページ: <http://pref.iwate.jp/~hp5507>